

# 推薦のことば

佐々木 基之

河村洋人

昭和23年東京で生まれる。国立音楽大学付属高校を経て同大学チェロ科を卒業  
高校2年より私の門に入り、耳の訓練、ピアノ、音楽表現等のレッスンをする。

昭和47年5月渡欧してスイスのイタリア語地区管弦楽団に入る。ウィーン、フ  
ランスも廻って昨秋帰国した。

彼は独自の音楽感覚をもつていて、教師から教えられた形を真似ることなく全  
ての音楽を耳と心によって演奏する。「パリはどうだった?」という質問に「さ  
あ、僕は友だちの下宿でチェロばかり弾いてたから…」と答えた彼、「外国へは  
もう行きません」とも言った彼は、今日の若者が失ってしまった人間性を豊かに  
もっている。それでこそ、彼の演奏は感動をもって聴くことができるであろう。

キムラ ヤスオ

昭和27年東京で生まれる。3才より私が指導していた東京YMCAの音感合唱  
で讃美歌をきながら育ち、3才9ヶ月より正式に耳の訓練とピアノのレッスン  
を始める。

小学時代に、ハイドンのソナタ、バッハのプレリュードフーガ、メンデルスゾ  
ーンの無言歌等を数曲とモーツアルトのピアノソナタを大半弾く。中学に入って  
ベートヴェンのソナタにかかり、3年の2学期迄に全32曲を弾いた。高校に入っ  
てからは、モーツアルトやベートーベン、シューマン、ラフマニノフ、ショパン  
等のピアノ協奏曲を12曲弾いた。

昭和50年9月、同門の高井清志と共に、北西ドイツ音楽大学（デトモルト）に  
テープ審査だけで入学を許可されて渡独、首席教授ウイルヘルム・シヌワーのク  
ラスに入り、ピアノ独奏の他にチェロやフルートの伴奏で学内演奏会に度々出演  
して忙しく充実した留学生活を送っている。